

令和 2 年度

# 推薦入試学生募集要項



## 鹿屋体育大学

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地  
公式ホームページ <https://www.nifs-k.ac.jp/>

# 目 次

1	学部、課程及び募集人員	1
2	推薦要件	2
3	選抜日程	3
4	選抜方法	3
5	出願書類等の提出先及び照会先	6
6	出願方法	7
7	出願期間	8
8	受験票等の送付	8
9	試験場	8
10	合格者の発表	8
11	入学確約書の提出	8
12	推薦入試不合格者の取扱い	8
13	入学手続・入学料等	8
14	入学手続についての留意事項	9
15	障害のある者等の事前相談	10
16	その他	10
	◆問い合わせ先	10
	◆入試情報の提供	10
	◆本人に開示する個人の入試情報の請求方法	10
	◆本学までの主な交通経路	11
	◆鹿屋体育大学位置図	12
	◆受験の際の宿泊施設について	12
	◆入学前教育について	12
	◆タブレット必携化について	12
	◆入学検定料の払込取扱票等の記入方法	13

## 【添付書類】

- ① 入学願書
- ② 志望者あて名シール
- ③ 競技歴調書
- ④ 推薦書
- ⑤ 受験票・写真票【裏面：実技検査票（A）・実技検査票（B）】
- ⑥ 払込取扱票
- ⑦ 【入学検定料振替払込受付証明書（お客さま用）】貼付用台紙
- ⑧ 入学試験関係書類在中封筒（黄色）
- ⑨ 出願用封筒（薄緑色）

## 【選抜日程等】

出 願 期 間	令和元年11月1日(金)～11月6日(水)
選 抜 日 程	令和元年11月21日(木)・11月22日(金)
合 格 者 発 表 日	令和元年12月4日(水)
入 学 手 続 期 間	令和2年2月14日(金)～2月19日(水)

## 入学料特別免除制度

「国際大会並びに全国大会における競技成績優秀者」を対象とした入学料免除制度を設けております。

# 令和2年度 鹿屋体育大学推薦入試学生募集要項

## 鹿屋体育大学の使命・教育理念

1981年に開学した国立大学唯一の体育系単科大学である鹿屋体育大学は、スポーツ・武道及び体育・健康づくりの分野において実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー・指導者を養成することを使命とし、本学の教育課程を核に、社会人としての豊かな教養の涵養や将来を展望し、勤労観・職業観を醸成しつつも、体育学に関してあらゆる専門性の深化と充実を目指します。

## アドミッション・ポリシー（AP）求める学生像

- ① 体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生  
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生
- ② 自己表現ができる学生  
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- ③ 新たな課題に挑む意欲のある学生  
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

## 入学試験の基本方針

- ・スポーツ・武道の分野で高い競技能力を有し、将来トップレベルの競技者になりうる資質について、課程別に指定した実技検査により判断します。
- ・スポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導・普及させるための基礎的な知識、また指導・普及における課題に対する思考・判断・表現力について小論文により判断します。
- ・スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおけるリーダーシップやマナー、コミュニケーション能力などについて面接により判断します。

なお、推薦入試においては、下記のと通りの強化種目を選定しております。

陸上競技，体操競技，水泳，バスケットボール，サッカー（男子），テニス，バレーボール，海洋スポーツ（セーリング，ローイング），自転車競技，柔道，剣道，なぎなた（女子）

## 1 学部，課程及び募集人員

学部	課程	募集人員
体育学部	スポーツ総合課程	50人
	武道課程	20人
合	計	70人

## スポーツ総合課程

トップレベルのアスリートの育成や科学的サポート，ジュニア期からの一貫指導，生涯にわたるスポーツ・健康づくりのコーディネーターなどに関心を持ち，同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており，当該課程を専攻する者は，自身の進路選択により講義や実技を履修することができます。

## 武道課程

武道に関心を持ち，同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており，当該課程を専攻する者は，武道に関する講義や実技（柔道，剣道）を必ず履修することになります。

上記を参考に課程を選択してください。

## 2 推薦要件

推薦入試に出願できる者は，次の(1)～(5)のすべてに該当する者とします。

- (1) 次の各号のいずれかに該当する者で出身学校長が責任を持って推薦し得る者（既卒者については卒業後1年以内）
  - ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
  - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
  - ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）学校教育法施行規則第150条第7号（大学において，個別の資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの）により出願しようとするものは，事前に本学の個別の入学資格審査を受ける必要があります。出願に先立ち，本学教務課入試係へ問い合わせてください。
- (2) 本学が定めた強化種目において，以下のいずれかの競技成績をあげた者（推薦要件の対象となる大会名及び国際大会出場者については，後掲の競技歴調書記入要領を参照してください。）

◎強化種目：[スポーツ総合課程]

陸上競技，体操競技，水泳，バスケットボール，サッカー（男子），テニス，バレーボール，海洋スポーツ（セーリング，ローイング），自転車競技

[武道課程]

柔道，剣道，なぎなた（女子）

- ① スポーツ総合課程  
（個人種目）
  - ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者
  - ・公式ランキング16位以上の競技成績を有する者
  - ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者
  - ・ブロック大会の種目別・団体総合ベスト8以上の競技成績を有する者（テニス，体操競技，駅伝）

（団体種目※）

  - ・全国大会又はブロック大会に出場した競技成績を有するレギュラーメンバー
  - ・ブロック単位での優秀選手，強化選手

※ 団体種目とは，バスケットボール，サッカー（男子），バレーボールの種目を指します。
- ② 武道課程
  - ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者（団体はレギュラーメンバーのみ）
  - ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者（団体はレギュラーメンバーのみ）
  - ・ブロック単位での優秀選手，強化選手
  - ・金鷲旗高校柔道大会又は玉竜旗高校剣道大会において連続15人以上勝ち抜いた者
- (3) 当該スポーツ・武道の分野においてその活動を継続し，競技力の向上に努める者
- (4) 調査書の全体の評定平均値が3.0以上の者
- (5) 本学の教育課程を履修するための学力を有する者

### 3 選抜日程

試験日時 課程名	11月21日(木)		11月22日(金)
	9:00～10:00	10:30～17:00	8:30～17:00
スポーツ総合課程	小論文	面接 健康診断	実技検査
武道課程			

### 4 選抜方法

推薦入試は、出身学校長の推薦に基づき、本学が行う試験（小論文、面接及び実技検査）の成績、調査書、競技歴調書、推薦書の内容及び健康診断の結果を総合して選抜します。

なお、大学入試センター試験は課しません。

#### 合否判定の基本方針

- ① 競技歴審査及び実技検査の評価の高い者から合格とします。  
なお、同評価の者が複数いた場合には、面接、小論文及び調査書審査の結果の順に判断します。
- ② 次の事項に該当する者については、不合格とします。
  - ア 小論文の結果が「1」の者
  - イ 面接の結果が「1」の者
  - ウ 健康診断の結果、修学に耐えられないと判断された者

#### (1) 本学が行う試験（小論文、面接及び実技検査）

##### ① 小論文

本学の教育を受けるにふさわしい資質をみるため、競技スポーツ、生涯スポーツ、武道、健康・体力等の領域から600字程度の小論文を課します。

##### 【採点・評価基準】

理解力・思考力・表現力等について総合的に5段階で評価します。

##### ② 面接

本学の教育を受けるにふさわしい適性をみるため、複数の面接員による7分程度の個人面接を行います。

##### 【採点・評価基準】

競技意欲、学習意欲について質問し、積極性、計画性、独創性の観点から5段階で評価します。また、それらの回答全体から品格、マナー、課題解決力についても5段階で評価します。

##### ③ 実技検査（専門種目検査）

下記のとおり課程別に指定した専門種目を専門とする者について、各専門種目のそれぞれの評価の観点について総合的に100点満点で評価します。

#### ○スポーツ総合課程

次表の専門種目の中から1種目を選択してください。

専門種目	検査内容	評価の観点
陸上競技	次の種目のうちから1種目を選択し、その選択した種目について、競技会形式で実施します。なお、選択種目毎に、基礎運動技能についても検査を行います。  (男子) 100m, 400m, 800m, 3000m, 110mH, 走高跳, 走幅跳, 三段跳, 棒高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投, ハンマー投, 混成 (注)	ア 検査種目の記録 イ 技術 ウ 身体的適性 エ 将来性

陸上競技	(女子) 100m, 400m, 800m, 1500m, 100mH, 走高跳, 走幅跳, 三段跳, 棒高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投, ハンマー投, 混成 (注) (注) 混成を選択した場合, 共通種目としてハードル (男子: 110mH, 女子: 100mH), 槍投, 400m の 3 種目と, 選択種目として走高跳又は走幅跳のいずれか 1 種目, 合計 4 種目について実施します。	
体操競技	次の全種目における基本技術と各自の自由演技について実施します。 (男子) ゆか, あん馬, つり輪, 跳馬, 平行棒, 鉄棒 (女子) 跳馬, 段違い平行棒, 平均台, ゆか	ア 技の正確さ, 大きさ, 力強さ イ 技の調整力, リズム, 流動性 ウ 将来性
水泳	次の競泳種目のうちから 1 種目を選択し, その選択した競泳種目の希望する距離について実施します。 自由形 (50m, 100m, 200m, 400m) 平泳ぎ (100m, 200m) 背泳ぎ (100m, 200m) バタフライ (100m, 200m) 個人メドレー (200m, 400m)	ア 泳力 イ 泳法 ウ 将来性
バスケットボール	次の各項目について実施します。 体力測定, シュート, 1 対 1 の攻防, 5 対 5 の攻防	ア 体力 イ シュート力 ウ 攻防の技能 エ ゲームの組立 オ 将来性
サッカー (男子) (フットサルを除く)	基本技術 (ボールコントロール, ドリブル), 対人技術 (1 対 1・4 対 4 の攻防), 身体適性能力 (シャトルラン) 及びゲームでのポジション別専門技術について実施します。	ア 体力 イ 基礎技術 ウ 戦術 エ 将来性
テニス	次の各項目について実施します。 ゲーム (シングルス及びダブルス), 体力測定 (5 方向走)	ア 基礎技術 イ 応用技術・戦術 ウ 体力 エ 将来性
バレーボール	次の各項目について実施します。 ジャンピングサーブ, トス, 3 対 3 ゲーム, 連続ジャンプ (男子: 300cm の高さを 30 秒×3 回, 女子: 270cm の高さを 30 秒×3 回)	ア 体力 イ 基礎技術 ウ 戦術判断 エ 将来性
海洋スポーツ (セーリング)	次の競技のうちから一つを選択し, 選択した競技の各項目について実施します。	
	ヨット	一人乗りディンギー (レーザーラジアル) の 艀装・解装, チューニング, 帆走
		【悪天候時】 一人乗りディンギー (レーザーラジアル) の 艀装・解装, チューニング, 体力テスト
	ボードセーリング	ボードセーリング (テクノ293クラス) のセッ ティング, リグ部のチューニング, セーリン グ
【悪天候時】 ボードセーリング (テクノ293クラス) のセッ ティング, リグ部のチューニング, 体力テス ト		
		ア 体力 イ 基礎技術 ウ 応用技術 エ 資質 オ 将来性

海洋スポーツ (ローイング)	次の競技のうちから一つを選択し、選択した競技の各項目について実施します。		
	ボート	2000mローイングエルゴ漕 200mダッシュ漕	ア 漕記録 イ 体力 ウ 漕技術 エ 将来性
	カヌー	500mカヌーエルゴ漕 100mダッシュ漕	
自転車競技	次の各項目について、いずれも自転車エルゴメータを用いて実施します。 ①5秒間全力ペダリングテスト、②40秒間全力ペダリングテスト、③持久性ペダリングテスト		ア ペダリング記録 イ ペダリング技術 ウ 将来性

### ○武道課程

次表の専門種目の中から1種目を選択してください。

専門種目	検査内容	評価の観点
柔道	次の各項目について実施します。 受身 講道館柔道投の形(手技、腰技、足技の各技の中からそれぞれ一つずつ指定された技を実施する(左右行う。)) 立技打込・固技の基本等(連絡変化技を含む。) 試合	ア 柔道の基本動作 イ 基本的投技・固技技能 ウ 応用的投技・固技技能 エ 実践的技能・戦術 オ 将来性
剣道	次の各項目について実施します。 日本剣道形(太刀の形 1本目～7本目) 切り返し 試合(稽古)	ア 剣道形の作法・所作・理合 イ 切り返しの理法と習得 ウ 基本と応用の統合性・打突行動 エ 将来性
なぎなた (女子)	次の各項目について実施します。 運動能力検査 (反応時間テスト、敏しょう性テスト) しかけ応じ(1本目～8本目) 試合稽古	ア 基礎的な身体資質 イ 着装・姿勢・態度・礼法 ウ 打突の技能・発声 エ 攻防の技能・気迫 オ 将来性

(注) ア 出願後は実技検査種目の変更を認めません。

イ 受験する実技検査種目に適する服装・履物を必ず持参してください。ただし、文字やマークによりチーム(学校)名を特定できるユニフォーム・道衣等の着用は禁止します。

ウ 競技用シューズを用いてよいですが、体育館シューズ及びグラウンドシューズは、区別してください。

エ 自転車競技を選択する受験者は、体育館シューズに加え、競技用シューズと互換性のあるペダルを、各自が持参してください。

オ 柔道衣、剣道具類、なぎなた用具・稽古着・袴等は、各自が持参してください。

カ ゼッケン(縦18cm×横25.5cmの白布に、受験番号の末尾3桁を記入したもの)を2枚作成し、ユニフォームの胸と背中にそれぞれ縫い付けておいてください。ただし、次の種目については、以下のとおりとします。

- ・ 陸上競技：ゼッケンの取扱いについては、後日送付する「実技検査(陸上競技)受験上の注意」を参照すること。

- ・ 体操競技：男子は試合用ランニング、女子は試合用レオタードの背中に縦10cm×横15cmのサイズのゼッケンを1枚縫い付けておくこと。

- ・ 柔道：柔道衣の背中に1枚縫い付けておくこと。

- ・ なぎなた(女子)：1枚は稽古着の背中に縫い付けておくこと。もう1枚は、準備して試験当日持参すること。

なお、水泳、ヨット、ボードセーリング及び剣道を選択する受験者は、ゼッケンの用意は不要です。

- キ 更衣室については、当日指示しますが、更衣後の衣服等を整理するために、袋やバック等を用意してください。
- ク 受験にあたっては、各自事前のトレーニングをしておいてください。
- ケ 検査順序・検査内容及び方法に関する説明は、試験当日行います。事前の問い合わせには一切応じません。
- コ 詳細は、後日送付する受験者心得を参照してください。

(2) 出身学校が作成する書類（出願書類）

① 調査書

出身学校長により作成された調査書を審査の対象とします。

なお、①学習における特徴等、②行動の特徴、特技等、③部活動、ボランティア活動等、④取得資格検定等を「指導上参考となる諸事項」欄に記入してください。

また、推薦する課程に対する能力・適性等を「備考」欄に記入してください。

【評価内容】

学業成績、就学状況、部活動やボランティア活動等をみます。

② 競技歴調書（成績・記録を証明する資料を含む）

本学所定の様式に出身学校長等が詳細に記入してください。なお、記入に際しては、後掲の競技歴調書記入要領を参照してください。

【評価内容】

競技者としての実績、成果をみるために、各競技大会における成績を評価します。

③ 推薦書

本学所定の様式に出身学校長が具体的に記入してください。

(3) 健康診断

実技検査の安全を期するため及び入学後の履修における支障の有無を確認するため、受験者全員に健康診断を行います。

健康診断は面接日に心音・心電図の測定及び健康調査票（当日配付）により行います。

なお、精密検査を受ける必要がある者については、試験当日、別途指示します。

## 5 出願書類等の提出先及び照会先

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

鹿屋体育大学教務課入試係

TEL 0994-46-4869 FAX 0994-46-2515



## 6 出願方法

出願書類等を一括し、本要項に添付の出願用封筒（薄緑色）を用いて必ず書留速達にて郵送してください。直接持参しても差し支えありません。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので十分注意してください。

出願書類受付後は、記載内容の変更は一切認めません。

なお、国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、1 大学・学部であるので注意してください。

出願書類等	摘 要
入 学 願 書	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。
志願者あて名シール	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。
競 技 歴 調 書 (成績・記録を証明する資料を含む)	本学所定の様式により、出身学校長等が作成したものを提出してください。作成に当たっては、後掲の競技歴調書記入要領を参照してください。
推 薦 書	本学所定の様式により、出身学校長が作成し、 <u>厳封したものを提出してください。</u> (折曲可)
受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。 写真（上半身、無帽、正面向きのもので、縦4cm×横3cm、最近3ヶ月以内に撮ったもの。カラー・白黒は問わない。写真の裏面に氏名を記入のこと。）を貼付してください。
実技検査票（A）・（B）	受験する種目は（A）・（B）票〔受験票・写真票の裏面〕が必ず一致するように正確に記入してください。
調 査 書	文部科学省が定めた様式により、出身学校長が作成し、 <u>厳封したものを提出してください。</u> なお、廃校・被災その他の事情により調査書の提出が困難な場合は、別途提出の指示を行いますので、出願期間前までに教務課入試係へ連絡してください。
入 学 検 定 料 ( 1 7 , 0 0 0 円 )	同封している払込取扱票に必要事項を記入（13頁を参照）して、令和元年10月25日(金)以降に郵便局の受付窓口で払込んでください。ATMからの払込みはしないでください。 なお、振込手数料は、依頼人負担となります。 払込取扱票等の※欄は、志願者本人の住所・氏名・電話番号等を必ず記入してください。 入学検定料を払い込んだ後、振替払込受付証明書（お客さま用）に受付局日附印があることを確認し、本学所定の台紙に貼付して出願してください。 また、下記の場合以外は、既納の検定料はいかなる理由があっても返還しません。 ア 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合 該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続を行ってください。 イ 検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合 ウ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は所定の金額より多く払い込んだ場合 上記イ及びウについては、本人の申し出により納入された検定料又は超過分を返還することができますので、必ず令和元年11月20日(水)までに教務課入試係（電話0994-46-4869）へ連絡してください。
封 筒 ( 黄 色 ) [入学試験関係書類在中]	受験票及び受験者心得等を送付する際に使用しますので、本学所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、 <u>郵便切手(420円)を貼付して提出してください。</u> また、封筒に記載の「殿」は消さないようにしてください。

## 7 出願期間

令和元年11月1日(金)～11月6日(水)とします。

① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。

ただし、土曜日、日曜日、祝日及び振替休日は受付を行いません。

② 郵送の場合は11月6日(水)17時15分必着とします。

(注) 出願期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮して送付してください。

## 8 受験票等の送付

受験票、受験者心得及びその他の書類が、令和元年11月17日(日)までに到着しない場合は、11月18日(月)8時30分以降に必ず教務課入試係に電話で照会してください。

## 9 試験場

鹿屋体育大学

所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地 TEL 0994-46-4869

試験場については、11・12頁の位置図等を参照してください。

## 10 合格者の発表

令和元年12月4日(水) 10時

本学事務局玄関前に合格者受験番号を掲示し発表するとともに、合格者に合格通知書及び関係書類を送付します。

本学ホームページ (<https://www.nifs-k.ac.jp/>) 上で、「合格者受験番号一覧表」を掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。

また、出身学校長あてに当該受験者の選抜の結果を郵送します。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

## 11 入学確約書の提出

合格者には、合格通知書とともに「入学確約書」を送付しますので、本人及び保証人が連署して、令和元年12月20日(金)までに必ず提出してください。

## 12 推薦入試不合格者の取扱い

推薦入試の結果、不合格となった者は、一般入試の「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。

なお、本学の受験に当たっては、「令和2年度鹿屋体育大学一般入試学生募集要項」(令和元年11月上旬から配付)により再度出願手続を行ってください。

その際、入学検定料17,000円はあらためて必要となります。

[参考]

令和2年度大学入試センター試験出願期間 令和元年9月30日(月)～10月10日(木)

令和2年度鹿屋体育大学一般入試出願期間 令和2年1月27日(月)～2月5日(水)

## 13 入学手続・入学料等

推薦入試合格者には、入学手続書類を送付しますので(令和2年1月中旬頃)、次頁(1)入学手続期間内に入学手続を完了してください。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しないときは、本学の推薦入試合格者としての権利が消滅するので注意してください。

- (1) 入学手続期間 令和2年2月14日(金)～2月19日(水)とします。
- ① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。  
ただし、土曜日、日曜日は受付を行いません。
- ② 郵送の場合は2月19日(水)17時15分必着とします。  
(注) 入学手続期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮してください。
- (2) 提出書類
- ① 本学推薦入試受験票  
② 誓約書  
③ 保証書  
④ 写真 1枚(縦4cm×横3cm)  
⑤ 卒業証明書(入学手続時に提出できない者は、後日速やかに提出すること。)  
⑥ 大学入試センター試験受験票(大学入試センター試験の出願をした者のみ。)  
⑦ その他の書類等(「入学手続等に関する手引き」送付時に通知する。)
- (3) 入学金等学生納付金
- ① 入学金 282,000円(予定額)  
② 授業料 前期分 267,900円( )  
年額 535,800円( )
- ア 入学金及び授業料については、予定額をお知らせしています。改定があった場合には、随時お知らせします。
- イ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ③ 諸経費(体育会費、学生教育研究災害傷害保険料、スポーツ安全保険料、同窓会会費等)  
76,060円(令和元年度入学実績)
- 令和2年度の諸経費の詳細については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。
- (注) ア 入学手続完了者が令和2年3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により諸経費を返還します。  
なお、入学金については返還しません。
- イ 入学金・授業料及び諸経費の納入方法については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。
- ウ 入学金・授業料の納付が著しく困難な者には、入学金免除、入学金徴収猶予及び授業料免除の制度があります。  
詳細については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。  
「国際大会並びに全国大会における競技成績優秀者」を対象とした入学金特別免除制度を設けております。  
入学金特別免除決定者には、本学より別途通知しますので、本人が手続を行う必要はありません。

## 14 入学手続についての留意事項

- (1) 本学の推薦入試合格者が、入学を辞退しようとするときは、その理由を明記した「推薦入試辞退届」(様式自由：当該者の推薦を行った出身学校長本人が作成したもの)を令和2年2月19日(水)までに本学学長へ提出し、入学辞退の許可を得なければなりません。
- (2) 本学の推薦入試合格者で、令和2年2月19日(水)までに入学手続を完了した者は、他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ)の一般入試を受験することはできません。受験しても合格者とはなりません。
- (3) 本学の推薦入試合格者で、令和2年2月19日(水)までに入学手続を完了しない者は、本学の推薦入試合格者としての権利を失います。この場合(「入学辞退届」を提出した者を除き)、国公立大学・学部の一一般入試を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センターの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報(独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学)を送付します。
- (5) 入学手続については、「本学推薦入試受験票」及び「大学入試センター試験受験票(大学入試センター試験の出願をした者のみ)」を必要とするので、紛失しないよう注意してください。
- (6) 入学手続については、合格者に対して送付する「入学手続等に関する手引き」を参照してください。

## 15 障害のある者等の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある者等で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、令和元年10月18日(金)までに、あらかじめ本学に電話で相談してください。

## 16 その他

- (1) 入学者選抜に関し、不正な行為又は虚偽の事実があった場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 出願書類は返却しません。
- (3) 受験についての詳細は、出願書類を提出した者に送付する「受験者心得」を参照してください。
- (4) 試験開始時刻（面接、健康診断及び実技検査は集合時刻）に30分を超えて遅刻した者は、その科目等の受験は認めません。
- (5) 保護者等の入構は、限られた場所（保護者等控室【学生食堂・ギャラリー等】）のみ認めます。特に、実技検査場付近での見学は、試験に支障をきたす恐れがありますので、「保護者等控室」で待機ください。
- (6) 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき、個人情報（出願書類への記載内容及び試験成績）については、入学者選抜に係る業務（追跡調査を含む。）及び修学指導に使用します。  
また、入学科・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として使用します。
- (7) 学生募集要項に関し、不明な点や質問がある場合は、下記の問い合わせ先に照会してください。  
なお、電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

◆問い合わせ先：〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地  
鹿屋体育大学教務課入試係  
TEL 0994-46-4869 FAX 0994-46-2515

### ◆入試情報の提供

本学公式ホームページ (<https://www.nifs-k.ac.jp/>) で、入試情報等を提供しています。

なお、ホームページ上で、「合格者受験番号一覧表」を掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。

### ◆本人に開示する個人の入試情報の請求方法

本人に開示する入試情報は、試験成績と調査書（「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄の記載を除く。）です。

申込期間： 令和2年5月1日から6月30日まで（土曜・日曜・国民の祝日（振替休日を含む）を除く。）

申込方法： 受験者本人が来学の上、申し込んでください。

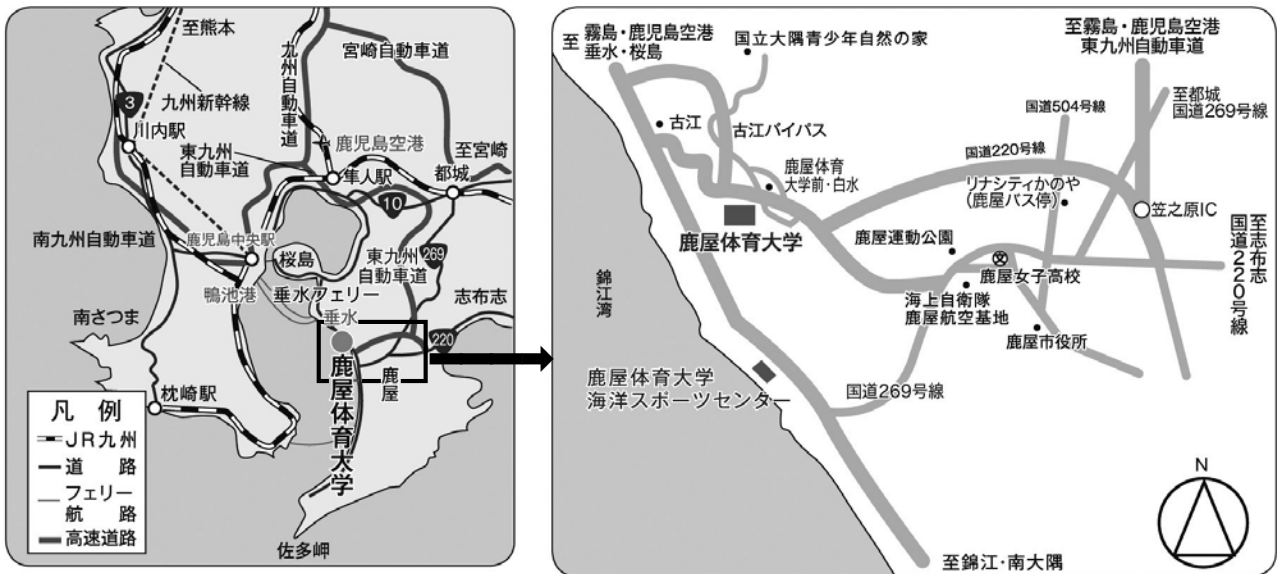
なお、その際に受験票又は身分を証明できるものと返信用封筒（受験者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、392円切手（※）を貼付したもの）を持参してください。

また、来学することが困難な者で、本人である確認が取れた受験者については、郵送等による申込みを受け付けます。

※郵便料金の変更があった場合は、変更後の料金を適用します。



## ◆鹿屋体育大学位置図



## ◆受験の際の宿泊施設について

受験のための宿泊施設の斡旋は本学では行いませんが、「受験者心得」に、鹿屋市内の宿泊施設一覧表を同封しますので参照してください。

なお、「受験者心得」送付前に宿泊申込等を希望される場合は、下記に問い合わせてください。

問い合わせ先	鹿屋市ホテル旅館組合（ニューワールドホテル） TEL 0994-44-7000
--------	--

## ◆入学前教育について

本学では、入学前に必要な情報交換や、入学前の質問や疑問の解決、さらに入学後の学力サポートを目的に、推薦入試合格者を対象とした入学前教育を実施しております。

なお、入学前教育の詳細については、合格者の入学確約書提出期限である令和元年12月20日(金)以降に、書面にてお知らせします。

## ◆タブレット必携化について

本学では、情報活用能力の育成と情報通信技術を活用した実践的指導力を養成するために、タブレットを用いた教育や学習支援を実施しております。

なお、準備いただくタブレットの仕様等の詳細については、令和2年1月中旬頃に送付する入学手続書類をご確認ください。

# ◆入学検定料の払込取扱票等の記入方法

(注) 入学検定料の払込みは、令和元年10月25日(金以降)にお願いいたします。  
ATMからの払込みはしないでください。

払込みが済んだら、この部分を本学所定の台紙に貼付し、提出してください。

各自保管

00 福 岡		払 込 取 扱 票													
口座記号番号	0 1 7 4 0 4	口座記号番号	5 2 7 2 8	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
加入者名	国立大学法人 鹿屋体育大学	加入者名	国立大学法人 鹿屋体育大学	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
ご依頼人	○志願課程 体育学部 ( スポーツ総合・武道 ) 課程 該当する課程を○で囲んでください。	ご依頼人	国立大学法人 鹿屋体育大学	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
おとこ		ご依頼人	国立大学法人 鹿屋体育大学	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
おなまえ (フリガナ)		ご依頼人	国立大学法人 鹿屋体育大学	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
電話番号		ご依頼人	国立大学法人 鹿屋体育大学	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
面書の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号福第10288号) これより下部には何も記入しないでください。		ご依頼人	国立大学法人 鹿屋体育大学	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
振替払込請求書兼受領証	0 1 7 4 0 4	振替払込請求書兼受領証	0 1 7 4 0 4	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
加入者名	国立大学法人 鹿屋体育大学	加入者名	国立大学法人 鹿屋体育大学	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
ご依頼人	おなまえ	ご依頼人	おなまえ	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
料 金	円	料 金	円	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
備 考		備 考		金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	
この受領証は、大切に保管してください。		この受領証は、大切に保管してください。		金額	千	百	十	万	千	百	十	円	1 7 0 0 0	備考	

振替払込受付証明書 (お客さま用) (ご依頼人⇒郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人)	
口座記号番号	0 1 7 4 0 4 - 5 2 7 2 8
加入者名	国立大学法人 鹿屋体育大学
払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 1 7 0 0 0
志願課程名	※ ( ) 課程 おなまえ
ご依頼人住所氏名	おとこ おなまえ (フリガナ) 電話番号
日 附 印	日 附 印

(承認番号福証第933号)

志願者の住所、氏名、電話番号等を記入してください。

志願者の氏名を記入してください。

志願者の志願課程、住所及び氏名を記入してください。

# 入学願書の書き方 (記入例)

選択する種目名を記入すること。  
(3～5頁参照)

志願する課程名を記入すること。

記入しないこと。

該当する学科名とコードを記入すること。

学科名	普通科	理数科	農業科	工業科	商業科	水産科
コード	01	02	03	04	05	06
学科名	家庭科	看護科	情報科	福祉科	総合学科	その他学科
コード	07	08	09	10	11	12

該当する箇所を○で囲むこと。

本学からの連絡の際に使用するので、  
詳細に記入すること。

専門種目検査で選択する種目名の  
該当するコードを記入すること。

申告種目	陸上競技	体操競技	水泳	バスケットボール	サッカー(男子)	テニス	バレーボール
コード	01	02	03	04	05	07	08
申告種目	ヨット	ボート	ボートセーリング	カヌー	自転車競技	柔道	剣道(なぎなた)(女子)
コード	09	10	11	12	13	21	22 23

陸上競技、水泳を選択する者は、具体的な受験種目名と  
該当するコードを記入すること。

なお、受験しない種目欄には記入しないこと。

## ○ 陸上競技

内容	100m	400m	800m	1500m	3000m	1000mH	110mH	走高跳	走幅跳	三段跳
コード	11	14	21	22	24	31	34	41	44	47
内容	棒高跳	混成走高跳	混成走幅跳	円盤投	砲丸投	植投	ハンマー投			
コード	50	61	64	71	74	77	80			

## ○ 水泳

内容	自由形	平泳ぎ	背泳ぎ	バタフライ	個人メドレー
コード	11	16	21	26	31

# 令和2年度 鹿屋体育大学推薦入試入学願書

志願課程	スポーツ総合		※
実技検査種目名	陸上競技		
受験番号	0203		
氏名	鹿屋花子		
カガナ記入 (姓と名の間は、1コマをあげ、濁点及び半濁点は1コマとする。)	カノヤハナコ		
漢字等記入 (かいはで丁寧に記入すること。)	鹿屋花子		
出生年月日	12	04	15
年齢	18歳		
性別	女		
課程	1 全日制	2 定時制	3 通信制
学科	普通科		
卒業(見込)の年月	02	03	
所在地	鹿屋市	設置	立国私
出身学校	鹿屋高等学校	学	平成高等
電話番号	0994	(46)	4111
志願者	白水町	鹿屋市	00寮
緊急連絡先	知本町	鹿屋太郎	
電話番号	099	(212)	3456
携帯・自宅・呼出 (方)	080	(1234)	5678
陸上競技の内容	100m	1	
水泳の内容			

記入しないこと。

入学願書を記入した日現在の年齢を記入すること。

提出された出願書類について  
確認を行う場合がありますので、  
必ず連絡のとれる電話番号を  
記入すること。



# 競技歴調書記入要領

## 【競技歴】

高等学校若しくは中等教育学校在学中のうち推薦要件に該当する上位3大会以内(1大会以上3大会以内)の成績・記録について成績の高い順に記入してください。なお、成績順は次の定義によります。

「上位3大会」における成績の定義

- ①国際大会の出場者及び日本選手権大会ベスト8以内の競技成績
- ②全国高校大会ベスト8以内の競技成績
- ③全国高校大会ベスト16以内の成績及びブロック大会ベスト8以内の競技成績
- ④全国高校大会及びブロック大会出場の競技成績(バスケットボール, サッカー(男子)及びバレーボールのみ)

また、「2 特記事項」に該当する事項がある場合には、具体的に記入してください。

競技歴調書に記載した成績・記録の本人の成績・記録を証明する資料を必ず添付してください(詳細については、後述の「※成績・記録を証明する資料を添付する際の留意事項」を参照してください)。

## 1 大会区分

推薦要件に該当する上位3大会以内(1大会以上3大会以内)の成績・記録が該当する大会区分について(1)~(3)のいずれかの番号を記入してください。また、当該成績を証明する資料を添付してください。

### (1) 国際大会

日本代表(ジュニアも含む。)として参加した大会とします。

### (2) 全国大会

後掲の「推薦入試における出願要件の対象となる全国大会一覧」を参照ください。

### (3) ブロック大会

「推薦入試における出願要件の対象となる全国大会一覧」の予選となる各ブロック大会(九州大会, 近畿大会, 関東大会等)及び各都道府県大会を経て出場する各ブロック大会とします。

## 2 特記事項

チーム競技として上位進出を果たせなかったが個人として優秀な成績をおさめた者(競技団体が指定した選抜選手, 強化選手, 優秀選手)の場合, 具体的に記入し, 証明する資料を添付してください。ただし, 推薦要件に該当するもののみを記入してください。

## 3 大会名

本人が当該大会に登録された選手として出場した大会の正式名称(全国高等学校総合体育大会, 全国高等学校〇〇競技選手権大会, 九州高等学校〇〇競技選手権大会等)及び区分(個人・団体)を記入します。

## 4 開催地

記入した大会が開催された都道府県名を記入します。

## 5 年月日

記入した大会が開催された年月日を記入します。

## 6 学年

記入した大会に出場した時の学年を記入します。

## 7 種目又はポジション（階級及びオーダー）

競技の種類により、次のように記入します。

- (1) 個人種目  
陸上競技：100m, 水泳競技：100m自由形
- (2) 団体種目  
サッカー：FW, バレーボール：センター
- (3) 体操競技  
団体総合, 個人総合, 種目別：鉄棒
- (4) 武道  
柔道：個人男子60kg級, 剣道：男子団体（大将）

## 8 成績

優勝, 第○位, ベスト○○等の成績の順位を記入します。

## 9 記録

タイム, 得点, 何戦中何勝何敗等の結果を具体的に記入します。

## 10 適性に関する所見

体育実技の分野において、優れている点を精神面, 技術面, 体力, 将来性等について詳細に記入してください。

## 11 記載者

役職名, 氏名, 所在地, 学校名, 校長名は, 推薦する高等学校において, 記入してください。

## ※ 成績・記録を証明する資料を添付する際の留意事項

成績・記録を証明する資料とは, 本人の氏名, 成績・記録等が記載されている表彰状, 大会組織委員会発行の公式記録表, 新聞, 雑誌による結果発表及び国内スポーツ連盟または都道府県の加盟団体発行の成績証明書等の写しを指し, 次のとおり作成してください。

- (1) 資料はすべてA4サイズに統一し, 成績ごとにクリップ留めすること。
- (2) 本人の成績が分かる箇所には蛍光ペン（黄色）で色を付けること。
- (3) ブロック大会の競技成績を用いる場合は, 当該ブロック大会が「推薦入試における出願要件の対象となる全国大会一覧」の予選となる大会であることがわかる, 若しくは, 各都道府県大会を経て出場する大会であることが分かる資料（大会要項等）を必ず添付すること。
- (4) 団体戦の結果を証明する場合は, トーナメント表及び本人が出場したことがわかる公式記録等を添付すること。バレーボールのリベロについては, 1回戦から順位が確定するまでのすべての試合に出場したことがわかる証明書等（大会を運営する協会等が発行する証明書）の書類を提出すること。  
また, 公式記録については1回戦から順位が確定するまでのすべてのものを添付すること。
- (5) 添付する書類は, 競技歴調書に記載した成績に限る（推薦要件に該当しない資料は添付しない）こと。  
また, 書類は必要最低限とすること（例えば, 雑誌の記事を添付する場合は, 表紙と該当する頁のみとするなど）。  
なお, 新聞や雑誌の記事には, 新聞・雑誌名, 日付, ページ等を記載すること。

◎推薦入試における出願要件の対象となる全国大会一覧

種 目		大 会 名
共 通		全日本選手権大会 全国高等学校総合体育大会（インターハイ） 国民体育大会（陸上競技及び水泳については、「少年A」を対象とします。）
陸 上 競 技		日本陸上競技選手権リレー競技大会 全国高等学校駅伝競走大会 U20日本陸上競技選手権大会 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
体 操 競 技		全国高等学校体操競技選抜大会 全日本ジュニア体操競技選手権大会 ユースオリンピックゲームズ日本代表決定競技会 体操個人総合スーパーファイナル
水 泳		日本選手権（25m）水泳競技大会 ジャパンオープン 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
バスケットボール		全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）
サッカー（男子）		高円宮杯全日本ユースサッカー選手権大会 全日本クラブユースサッカー選手権大会 Jリーグユース選手権大会 全国高校サッカー選手権大会
テ ニ ス		全国選抜高等学校テニス大会 全日本ジュニアテニス選手権（18歳以下の部を対象とします。） JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会
バレーボール		全日本バレーボール高等学校選手権大会
海洋スポーツ（セーリング）	ヨット	全国高等学校選抜ヨット選手権大会 ISAFユースワールドセーリングチャンピオンシップ日本代表選手選考レース
	ボードセーリング	ISAFユースワールドセーリングチャンピオンシップ日本代表選手選考レース
海洋スポーツ（ローイング）	ボート	全国高等学校選抜ボート大会 全日本新人選手権大会 JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアボート選手権大会 全日本軽量級選手権大会
	カヌー	文部科学大臣杯日本カヌースプリントジュニア選手権大会（学年別ベストナイン認定は該当しません。） 日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会
自 転 車 競 技		JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会（U17の部は対象としません。） 全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会 （U17の部は対象としません。） 全日本自転車競技選手権大会ロード・レース（U17の部は対象としません。） 全国高等学校選抜自転車競技大会 全国都道府県対抗自転車競技大会
柔 道		金鷲旗高校柔道大会 全国高等学校柔道選手権大会 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 全日本カデ柔道体重別選手権大会
剣 道		全日本都道府県対抗剣道優勝大会 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 玉竜旗高校剣道大会 全国高等学校剣道選抜大会
なぎなた（女子）		全国高等学校なぎなた選抜大会

※ 主催者の都合により上記大会の名称が一部変更になることがありますが、同一の大会であれば対象の大会として取り扱うこととします。

# 推 薦 書 記 入 要 領

学業、人物、課外活動、生活態度等の欄には、ただ単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評的・抽象的な記入ではなく、より具体的に、事実に基づき記入してください。

## 1 学業

授業中における態度、勉学の自発性、計画性、持続性、理解力及び創造的思考能力等について具体的に記入してください。

## 2 人物

行動及び性格について、具体的に記入してください。

## 3 課外活動

生徒会活動、スポーツ・文化活動、ボランティア活動の諸活動について本人の役割、役職名及び活動状況等を学年別に記入してください。

## 4 生活態度等

本人の生活態度、健康状況、趣味、特技等について記入してください。

